

松山代議員トップ発言 組織拡大の成果を報告 JR総連第35回定期大会

JR総連第35回定期大会が6月3日、東京都内で開催されました。

代議員で出席した松山さんは、組織拡大についてトップで発言しました。松山代議員は、自身のJR東海労加入に至る経緯を紹介し、今年に入り3名がJR東海ユニオン（JR連合）から決別して、JR東海労に加入したことを報告しました。JR東海ユニオン指導部は、組合員の立場に立たず、会社の立場で組合員を「管理」していること、JR東海労・JR総連の運動こそが組合員の立場に立って共に闘っている実感があることを訴えました。

その発言と併せ、JR北海道のローカル線存続の問題にも触れ、全国のローカル線を残すための闘いをやろうと、全国の仲間に訴えました。

また、本橋代議員（本部書記長）は、組織拡大について松山代議員の補足発言を行うと共に、本人の同意なき一方的な休日出勤指定に反対する実践的闘いの報告と成果について発言しました。

